全国52,000人のボランティア救助員の活動を支えています

青い羽根募金活動レポート2017

公益社団法人福岡県水難救済会 大岳救難所所属救助船「おおたけ2」の体験航海

平成29年度「青い羽根募金」の状況

本年度も「海の日」を中心に7～8月の2ヵ月間を「青い羽根募金強調期間」と銘打ち、全国道府県水難救済会と協力して積極的に募金活動を実施。

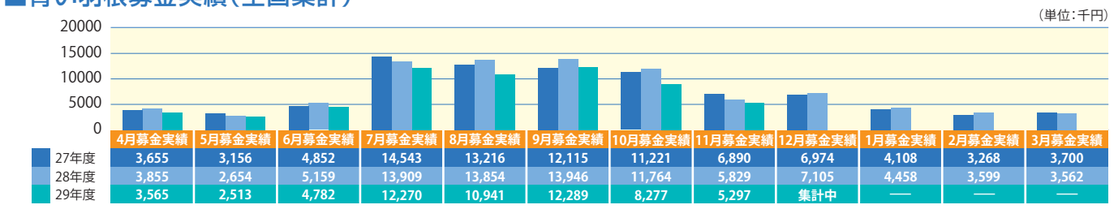
全国の多くの皆様から、青い羽根募金の趣旨にご賛同をいただき、暖かいご支援をいただきました。また、海上保安庁、防衛省等関係省庁をはじめ自治体、企業、団体等からもご支援をいただきました。特に防衛省の陸上、海上及び航空自衛隊の隊員の皆様や、海洋少年団および学校生徒会等の皆様に募金活動への多大なご協力をいただきました。

皆様のご支援により平成29年11月（4月から11月末の集計）までに、59,934,937円の募金をいただきました（下図「青い羽根募金実績」参照）。

宮城県水難救済会募金活動の様子

■青い羽根募金実績（全国集計）

（単位：千円）



	4月募金実績	5月募金実績	6月募金実績	7月募金実績	8月募金実績	9月募金実績	10月募金実績	11月募金実績	12月募金実績	1月募金実績	2月募金実績	3月募金実績
27年度	3,655	3,156	4,852	14,543	13,216	12,115	11,221	6,890	6,974	4,108	3,268	3,700
28年度	3,855	2,654	5,159	13,909	13,854	13,946	11,764	5,829	7,105	4,458	3,599	3,562
29年度	3,565	2,513	4,782	12,270	10,941	12,289	8,277	5,297	集計中	—	—	—

■藤沢海洋少年団 様

平成29年9月23日、24日、藤沢市民まつりにおいて、青い羽根募金活動に藤沢海洋少年団団員の皆さんがご協力してくださいました。

■清水海洋少年団 様

平成29年11月5日清水港に入港していた大型帆船「海王丸」の一般公開（船内見学）に併せ、青い羽根募金活動に清水海洋少年団団員の皆さんがご協力してくださいました。

■長崎海洋少年団 様

平成29年11月18日巡視船「でじま」の一般公開に併せ、青い羽根募金活動に長崎海洋少年団団員の皆さんがご協力してくださいました。

各地の「青い羽根募金支援自販機」設置活動

全国の津々浦々で昼夜を問わず、献身的に捜索救助に勤しんでいる民間ボランティア救助員が、海上における厳しい自然環境の中で一刻を争うような事態に際しても安全かつ迅速的確に捜索救助活動を実施していくためには、日頃から各種研修訓練を実施するとともに、基本的な救難用資器材の整備や救助船の運航等に必要な諸経費をできるだけ十分かつ安定的に確保していくことが不可欠であります。こうした民間ボランティア救助員の活動を支えているのが、一般の市民や企業等から寄せられる「青い羽根募金」です。

「青い羽根募金」は、公益社団法人日本水難救済会のホームページからインターネット募金する方法や「青い羽根募金」口座に振り込む方法等のほかに、**「青い羽根募金支援自販機」**でドリンクを購入すると、その売上金の一部が自動的に「青い羽根募金」として寄附されます。

日本水難救済会では、「青い羽根募金支援自販機設置のお願い」と題するリーフレット等により全国的な普及促進を図っております。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

■宮崎県水難救済会

宮崎県水難救済会で初めてとなる「青い羽根募金支援自販機」が設置され、平成29年8月30日、報道陣等が見守るなか、除幕式が執り行われました。

この支援自販機は、宮崎県水難救済会事務局のある宮崎県水産会館1階に設置したもので、売り上げの一部が「青い羽根募金」としてボランティア救助員の活動費に充てられるほか、この支援自販機の設置された宮崎県水産会館が宮崎市の指定緊急避難場所であることから、災害発生時には自販機内の飲料水を無料で被災者に提供する災害対応型自販機となっています。

■和歌山県水難救済会

和歌山県漁業協同組合連合会様のご協力により、和歌山県水産会館前に「青い羽根募金支援自販機」1台が設置され、平成29年11月15日から運用が開始されました。和歌山県内の青い羽根募金支援自販機は、本機で5台目で、ボランティア救助員の支援のため、今後、更に設置拡大を図って行くこととしています。

■公益社団法人 日本水難救済会

日本水難救済会では、東亜建設株式会社様のご協力により陸前高田脇ノ沢工事事務所に青い羽根募金支援自販機（ダイドードリンコ）1台を設置していただきました。

本自販機には、青い羽根募金支援自販機である旨の口上書やきゅうすけクン・シール等が添付されています。

この自動販売機の売上金の一部は青い羽根募金として公益社団法人日本水難救済会の海難救助ボランティア活動を支えています。

公益社団法人日本水難救済会

青い羽根募金の使い道は？

使い道は、部外の有識者で構成する青い羽根募金運営協議会委員の審議承認を得て決定され、救難物品、装備資機材費、出動報償、人命救助訓練、装備機材維持管理、募金付帯業務に使われます。

●救命索発射器

●夜間捜索用照明器具

●人命救助訓練用機器

●救命浮環

●自動体外式除細動器（AED）

流されても…
浮いてさえいれば！

生命（いのち）を繋ぐ環　ライフリング・プロジェクト

日本水難救済会及び各地方水難救済会では、岸壁・防波堤における海中転落事故による死者・行方不明者が海浜事故の約6割を占めていることから、広く国民の皆さまから寄せられた「青い羽根募金」を原資として、一般人の海中転落事故発生のおそれのある桟橋及び海浜公園等に救命浮環を設置する「ライフリング・プロジェクト（救命浮環設置事業）」を展開しております。

ライフリングには、岸壁の手すり等既存の設備に取り付けたもの、スタンドを立て取り付けたもの、及び水辺の近くに設置した「青い羽根募金支援自販機」のダストボックスにライフリングを内蔵したものがあり、平成29年10月末現在、全国で197個（うち青い羽根募金支援自販機内蔵型26個）が設置されております。

●青い羽根募金支援自販機内蔵型

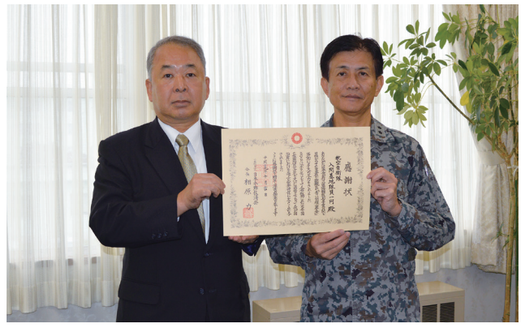
ダストボックスを開けた状態

●スタンド型

「青い羽根募金」にご協力いただいた企業、団体等に感謝状を贈呈

■鹿島建設株式会社 様

平成29年10月12日、日本水難救済会向田理事長から鹿島建設株式会社専務執行役員 竹田様（中央）に会長感謝状及び事業功労有功盾が伝達されました。



■航空自衛隊入間基地 様

平成29年10月16日、日本水難救済会菊井常務理事から航空自衛隊入間基地司令 中原様（右）に会長感謝状及び事業功労有功盾が伝達されました。

■株式会社港屋 様

平成29年10月24日、日本水難救済会向田理事長から株式会社港屋代表取締役社長 坂田様（中央）に会長感謝状及び事業功労有功盾が伝達されました。

■SGホールディングス株式会社 様

平成29年10月25日、日本水難救済会菊井常務理事からSGホールディングス株式会社取締役 笹森様（右）に会長感謝状及び事業功労有功盾が伝達されました。

■若築建設株式会社 様

平成29年12月8日、若築建設株式会社東京本社において、同社代表取締役社長 五百蔵様（右から2人目）へ、日本水難救済会向田理事長から会長感謝状及び事業功労有功盾が伝達されました。

■東洋建設株式会社 様

平成29年12月11日、東洋建設株式会社本社において、同社代表取締役社長武澤様（左から3人目）へ、日本水難救済会菊井常務理事から会長感謝状及び事業功労有功盾が伝達されました。